

御前崎フィールド 活動報告ポスター

御前崎スポーツ振興プロジェクト ～スポーツによる交流人口の拡大と産業振興の推進～

スポーツプロモーションコース 3年 勝亦彩乃 小出康士郎 横山透真
指導教員 平嶋裕輔 川崎和也

地域概要 夢と希望のあふれるまち御前崎

人口：29024人(令和6年12月末)

2004年4月1日、御前崎町と浜岡町が合併して御前崎市が誕生。市内には「浜岡砂丘」や「御前崎灯台」のほか、「御前崎マリパーク」「海鮮なぶら市場」「あらさわふる里公園」など、さまざまな名所・施設がある。また年日照時間が国内で最も長いなど、地理的特徴等を活かしたスポーツも盛んで、ウィンドサーフィンの世界大会も開催されている。



御前崎市もまた人口流出に伴う人口減少、少子高齢化、地域経済の縮小・衰退などの諸問題に直面している。2045年には住民の5割近くが65歳以上の高齢者になると予想され、その結果、御前崎市の第一次・第二次産業の担い手が不足し、さらに地域コミュニティの希薄化などの問題も懸念される。

それらの問題に対して、御前崎市では、①『活力』のある仕事・人材づくり、②『魅力』あふれる発信・交流づくり、③『希望』ある子育て・活躍の場づくり、④『安心』ある地域づくりの4つを基本戦略に掲げて、市民・行政・企業などが連携しながら、地域づくりに取り組んでいる。

これまでの活動 スポーツフィールドワークとして

国と御前崎市との地方創生推進事業である「御前崎スポーツ振興プロジェクト」と連携して、御前崎市でフィールドワークを行ってきた。昨年度まではスポーツを中心に施設、名所を視察、イベントの開催などを通して、御前崎市の地域活性化に取り組んできた。



「マリンスポーツフェスタ」

カヌーやボートをはじめとするイベントの運営補助をさせていただきました。天気が良く、とてもきれいな海があるという御前崎市の魅力を再確認することができ、良い経験となりました！

「インクルーシブサッカーフェスタ」

性別、年齢、障害の有無など関係なく、サッカーを通して楽しく交流することを目的として行いました。50名を超える小学生が参加し、とても盛り上がりました！

「桜まつり」

ニュースポーツのモルックの体験ブースを出店しました。ほとんどの方が初めて知るスポーツであったが、ルールを理解した上で本気で楽しんでくれて、老若男女が笑顔になれるとてもいい時間でした！

2024年度の活動

御前崎市は市制20周年、そして特産品である干し芋誕生より200年のこの節目の年に、「干し芋プロジェクト」を始動。スポーツを中心に活動を行ってきていた私たちもこのプロジェクトの力になりたいと考え、協同させていただきました！

<御前崎市干し芋農家 齋藤丈雄さんインタビュー>

御前崎市の伝説的サツマイモ農家であり、干し芋生産の第一人者である、齋藤丈雄さんにインタビューさせていただきました。干し芋の作り方はもちろん、生産する上で大変なことや、日本の農業の未来など、様々なことを熱く語っていただきました。



<下村勝市長インタビュー>

市長にインタビューをするという貴重な経験をさせていただきました。めったにない機会なのでとても緊張しましたが、話しやすい雰囲気を作ってくださり、有意義な時間となりました。このプロジェクトに対する思いを聞くことができました。

<11/23.24 御前崎市大産業まつり>

資料で調べたことやインタビューでお聞きしたことを元に、ポスターを制作しました。多くの方に立ち止まっていたいただき、地域の方とたくさん交流することができました。御前崎市の温かさ、魅力に触れられた2日間でした。



これまで取り組んできたフィールドワークを振り返って

活動を通して、気候、立地、人柄など多くの魅力を肌で感じる事が出来たと思います。特に、最後にお手伝いさせていただいた御前崎市産業祭では、これまで活動してきて触れてきた魅力に加えて、御前崎市の方の地元愛を強く感じる事ができて、すごく温かい地域だなと改めて感じました。こういった地域にしかないのどこかさなど、御前崎市ならではの良さをこれからも残していきたいと思いました。

横山透真

今年はスポーツにとらわれず、産業の面から新たな魅力を発見することが出来ました。今までの活動とは異なる世代の方や個性のあるの方と関わらせて頂き、地域に対する熱い想いなど、様々なことを感じました。これからも御前崎市の素晴らしい文化や新たなスポーツの形、交流の仕方をなどを継続して発信していったほしいなと思っています。

勝亦彩乃

私たちはスポーツフィールドワークとして、御前崎市の魅力を発見・発信しようとして取り組んできました。この2年半での数字的な成果と言われると、正直なところ大きいものは得られていないのかもしれませんが。しかし私たち大学生が御前崎市という市の魅力に気づき、地元の方々と和気あいあいと交流し、笑顔の輪が広がったことは、少し傲慢ですが大きな成果と言えるのではないかと思います。今後フィールドワークが終わっても、御前崎市で得た経験を活かしていきたいです。

小出康士郎

謝辞

御前崎市総務部企画政策課様、御前崎市観光協会様、公益財団法人御前崎市振興公社様、御前崎市役所様、のれん会様、電源地域振興センター様、並びに本活動の遂行に協力してくださったすべての方々に、厚く御礼申し上げます。